

## 令和5年度下期の取組について

### 1 看取りの場面における現状について

～各種アンケート，指標の結果から～

- ・コロナ禍のさなかであった令和3年度は，自宅で死亡する人数の割合が増加。
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によるアンケートでは，3年前の調査に比べ最期を迎える場所として「わからない」と答える割合が増加。
- ・9月19日に行った研修会後のグループワーク等では，ACPの普及啓発が必要との意見や，家族の理解を深める必要があるとする意見がみられた。
- ・地域における医療・介護それぞれの資源等の乏しさを指摘する声なども散見される。

### 2 令和5年度下期に実施する取組について（事務局提案）

#### （1）看取りの場面の課題抽出のため，ワーキンググループの設定

- ・先ほど設定した看取りの場面での目標（めざすべき姿）を踏まえ，より具現化する作業が必要
- ・これらの現状等を踏まえ，課題の抽出等，より具体的な検討を行う必要があり，事務局としてはワーキンググループの設置を提案したい。
- ・ワーキンググループの参加者として，検討会から数名の参加をお願いしたい。
- ・その他の人選については，事務局に一任いただき，第1回目のワーキンググループ開催を目指すものとしたい。

#### （2）講演会，研修会の実施

- ・ワーキンググループ設置に並行し，旭川市保健所，相談支援窓口（市立旭川病院）などの協力を得ながら，ACPをテーマとした講演会，研修会の開催を検討したい。